

講義名	研究演習				
講義コード	45408	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
担当教員	小笠原 宏			オンライン・コード	SEM350

学部・学科	演習分野
商学科	小笠原宏ゼミ（研究演習）

**概要説明**

経営財務（企業財務）というお金のマネジメントの基本的な考え方、リスクに対する対処法などを、専門的なテキストや、資料を使いながら学ぶ。予習（テキスト精読）からスタートして、経営全般に関わるビジネス・モデルの分析及び新規提案まで目指す。就職や進路相談を当初から行い、自らの方向性や適性の把握を明確に行つてそれにあつた指導を行う。いくつかの著名な欧米テキスト（邦訳）をメインに（前期に指事、配布済み）提示する。進度に応じて関連文献は追加的に指示する。自宅での文献精読を行った上で講義および討論などに参加すること。対面講義だけでなく、オンライン（ZOOM）及びメール、ネット上ストレージなどを必要に応じて並行活用していく。更に個別対応及び指導も並行して実施。受講生の問題意識や研究リサーチテーマに関する議論などを優先するが、並行して基本的なビジネス・スクールなどでの経営財務関連専門テキスト（日本語、英語）の講義を行う（要予習復習レジメ作成）。テキストは候補の中から相談して決定予定。。）

**主な卒業論文のタイトル**

ネットワークビジネスの研究 中国自動車産業の考察  
 POSの意義と将来性 サッカービジネスの将来性考察  
 企業評価手法の研究 中古不動産流通市場について  
 イスラム社会における保険事業の考察  
 職業としてのギャンブル  
 アメコミを日本でもっと人気コンテンツにする戦略的考察  
 完成に至らなかった卒業研究は、その進捗度、完成度におうじて準成果物として評価講評は行った。

**教員からの要望**

基本対面講義。事情からのオンライン講義(ZOOM)に参加も事前申し出により対応可能。ネット上で講義開講の準備は整備済み。学外から参加の場合は、指定時間場所に参加のご双方向発信の指導も併用。マイク（発言）ができる環境を整備（学外からのアクセスなど可）して講義に備えることを推奨。受講生の都合優先する。遅えず教員への報告など行つていただくこと。  
 一般的な期望は、本ゼミでは、専門分野は、自分のプロフィールの説明において、大学生活での専門勉強分野は、経営財務です。それに基づく経営戦略構築ですと明確に、相手に説明できる程度の知識と、思考法を身につけるように奮闘します。きちんと与えられた課題や、テキストをきちんと読んで予習などができることを望みます。高い授業料を払っているのですから、教員を「活用する」ということが必要だと思ひます。そうして所定期間だけでも集中して、メリハリ付けて勉強をすることが大事です。議論や討論の繰り返しにめげずに、自己活性化と胆力をつけて就職活動に望んで下さい。

**選考方法**

基本的に面接。（他ゼミ研究演習 などからの転属歓迎）

**評価方法**

主要テキストを全員で精読し、議論する形から開始。その後進捗度などに応じて資料、テキストなどを追加していく。応相談。学生の希望に応じて、様々なプロジェクトや企画に積極的に参加。その場合は指導応援をします。従来適用してきた（過去事例として、必要学生に対しては、基本的に基本参考文献の提示をするので、合計10冊程度の講義とレポート提出をもって評価。単位認定というのものも有った。）（あくまで回遊的な対応の一つで有り、退ゼミを薦めることもあることを認識して欲しい。）。それを基にした個別面接指導を必要に応じて受けること。基本的に受講生各自の授業の出席及び進捗度に応じて評価する。

教員英字氏名	研究室
Hiroshi Ogasawara	3411

**最終学歴**  
 慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得満期退学

**学位**  
 経営学修士(MBA)

**主な研究活動・社会活動・研究業績**  
 中小企業など関係者からの依頼による経営コンサルティング、アドバイザー業務の実施経験あり。

**趣味・特技**  
 ゴルフ クレー射撃 テニス 映画鑑賞 旅行 模型製作 他多岐にわたる。

**所属**  
 流通科学大学商学部

**所属学会**  
 金融学会 日本ファイナンス学会 経営財務研究会 証券経済学会 行動経済学会

**専門分野**  
 経営財務 経営戦略 投資戦略 金融論 実験経済学 行動経済学

**担当科目**  
 生活金融論 ビジネス・ゲーム 財務戦略論 投資戦略論 ファイナンシャル/プランニング（隔年担当） ゲーミング演習（院修/隔年） 研究演習、卒業研究

**備考**  
 学生のレベルとニーズに応じて対応予定。（個別学生の学習の進捗度、希望など考慮して対応する）ただし、研究演習は選択なので、卒業単位稼ぎのための安直な履修はしないこと。授業出席、途中課題、学外視察など、積極的にこなしていき意欲を求める）継続して4年生の卒業研究（卒論）があるが、論文作成は必須になるので、卒業研究とは切り離してこの履修することは別にかまわない。

**実務経験の有無及び活用**  
 外国銀行及びシンクタンク勤務経験があり、実業界、実務社会での要請や必要要件の理解認識を持っている。ほんとうの「実学」教育訓練の実践を目指している。